

○「斐伊川水系中海沿岸の減災に係る取組方針」に基づく取組の進捗状況(斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会)

具体的な取組の柱		目標時期	取組機関	主務	令和元年度末の達成状況 前倒し実施 : ◎ 予定どおり実施 : ○ 作業中 : △ 未着手 : × R1(H31)対象外 : -	令和元年度に実施した内容	令和2年度に実施する内容 (予定)	備考
事項								
具体的取組	取組内容の詳細							
1. 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組								
■洪水及び高潮に対するハード対策の推進								
・中海湖岸堤整備	今後概ね5年間で整備する箇所 短期:西工業団地、蔭津、江島、長海 短中期:米子港、安来 中期:大海崎	順次実施	中国地整	中国地整(出雲河川)	○	整備計画に基づき順次実施	整備計画に基づき順次実施する	
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備								
・水害に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備	CCTVの増設検討(大海崎ほか)、 水位情報の公表検討(本庄ほか)	H30年度	中国地整	中国地整(出雲河川)	△	水位情報の公表検討した	簡易河川監視カメラ、危機管理・型水位計の設置を進める	
・河川のリアルタイム映像の提供環境の整備及び避難行動等に資する水位予測等の精度向上	河川のリアルタイム映像の提供環境の整備(日野川とも連携) 避難行動等に資する水位予測等の精度向上(想定最大規模高潮の浸水シミュレーションの活用や気象台とも連携)	H28年度から検討実施	中国地整	中国地整(出雲河川)	○	米子市・境港市へのリアルタイム映像の提供環境の構築する水位予測の精度向上を図る	米子市・境港市へのリアルタイム映像の提供環境の構築する水位予測の精度向上を図る	
・防災情報の周知徹底	米子市:防災行政無線のデジタル化 境港市、松江市、安来市、鳥取県、島根県:防災メール等 国:プッシュ型の洪水予報	H28年度から検討実施	協議会全体	米子市	○	防災無線のデジタル化を一部地域にて実施(最終年度) 防災行政無線の内容を米子市ホームページに連帯	防災ラジオの整備。	
				境港市	○	引き続き、出前講座や市報、市HPを活用し、トリピーメールの登録促進やテレホンサービスの活用促進等を図った。 防災行政無線のデジタル化事業を実施中	引き続き、出前講座や市報、市HPを活用し、トリピーメールや防災アプリの登録促進やテレホンサービスの活用促進等を図る。 防災行政無線のデジタル化を実施する。	
				松江市	○	出前講座、地区説明会で周知を図った	引き続き出前講座等で周知を図る	
				安来市	○	引き続き、行政告知放送施設、ケーブルテレビの設置率の向上を図るとともに、防災情報伝達手段の整備を検討する	引き続き、出前講座や行政告知放送施設、ケーブルテレビの設置率の向上を図るとともに、情報伝達手段の無線化など防災情報伝達手段の整備を検討する	
				鳥取県	○	防災行政無線の戸別受信機が未配備の自治体に対し、その整備などの対応を引き続き要請する 鳥取県が提供する防災メール、アプリを周知する	防災行政無線の戸別受信機が未配備の自治体に対し、その整備などの対応を引き続き要請する 引き続き、「あんしんトリピーメール」及び「あんしんトリピーナビ」(令和元年度より多言語対応)の周知に努める。	
				島根県	○	出前講座や新聞「考える県政」等により防災情報の周知を図った	引き続き、提供している防災情報について、講演会等の機会を通じ周知する	
				気象台	○	【R1.6.7】島根県水防(計画)研修において出雲河川事務所と共同で発表している斐伊川の洪水予報について周知を図った	出雲河川事務所と共同で発表している斐伊川の洪水予報について、出前講座等の機会に周知する	
				中国地整(出雲河川)	(完)			
・防災気象情報の改善	・大雨警報・注意報(浸水害)洪水警報・注意報等の基準についての評価及び検証	順次実施	気象庁	気象台	○	・台風進路予報の改善(予報円及び暴風警戒域の絞り込み、予報の信頼度をよりの確に表現する)を行い、令和元年6月12日より運用開始 ・土砂災害危険度分布の解像度をこれまでの5kmメッシュから1Kmメッシュへの高解像度化し、令和元年6月28日より運用開始 ・令和元年12月24日より危険度分布とリスク情報(浸水想定区域、土砂災害警戒区域)を重ね合わせて表示できるよう改善 ・令和2年3月18日より、天気分布予報及び時系列予報の高解像度化・予報期間の延長等改善を行い、リニューアルした気象庁ホームページによる発表を開始	大雨警報・注意報(浸水害)洪水警報・注意報等の基準についての評価及び検証を行い、必要に応じて基準の見直しを行う	
■想定最大規模降雨の浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等								
・想定最大規模降雨における浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表	県管理河川の想定最大規模降雨における浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表	H28年度から検討実施	鳥取県	鳥取県	△	・氾濫シミュレーションを浸水ナビにより公表する(申請済)	・氾濫シミュレーションを浸水ナビにより公表する(申請済)	
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等を発令する範囲の見直し	防災計画の見直し等、想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等を発令する範囲の見直し	米子市:県管理河川の洪水浸水想定区域図公表後より検討実施 境港市:H29年度から検討実施 松江市:県管理河川の洪水浸水想定区域図公表後より検討実施 安来市:県管理河川の洪水浸水想定区域図公表後より検討実施	鳥根県	鳥根県	○	飯梨川、伯太川洪水浸水想定区域図の公表(R1.6.28)	—	
			米子市	米子市	○	・地域防災計画の改訂	・地域防災計画の見直しを検討	
			境港市	境港市	○	・津波・洪水ハザードマップでの周知を実施 ・地域防災計画の修正	津波・洪水ハザードマップでの周知を継続して実施	
			松江市	松江市	△	ハザードマップでの周知の実施	引き続きハザードマップでの周知を実施する。	
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付	米子市:H31年度から検討実施 境港市:H28年度から検討実施 松江市、安来市:県管理河川の洪水浸水想定区域図公表後より検討実施 安来市:県管理河川の洪水浸水想定区域図公表後より検討実施	米子市	米子市	○	・洪水ハザードマップでの周知を実施 ・洪水ハザードマップ住民説明会の実施	・洪水ハザードマップでの周知を実施 ・洪水ハザードマップ住民説明会の実施	
			境港市	境港市	○	・津波・洪水ハザードマップを作成し、全戸配布した	・津波洪水ハザードマップの修正を予定 ・出前講座等でハザードマップの内容を説明する	
			松江市	松江市	○	ハザードマップ(防災ガイドブック)を作成し全戸配布した	防災ガイドブックを活用し、出前講座等でハザードマップの内容を説明する	
			安来市	安来市	-	6月28日の公表を受け、HPでの周知を行った	H30年4月に計画規模浸水想定区域(一部最大想定規模)のハザードマップを配布しており、混乱を生じないよう周知方法を検討・実施する	
・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供	洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供	米子市:県管理河川の洪水浸水想定区域図公表後より検討実施 境港市:国からの資料提供や手法の指導の後より順次実施 松江市:国からの資料提供や手法の指導の後より順次実施 安来市:国からの資料提供や手法の指導の後より順次実施	米子市	米子市	○	引き続き、避難計画作成等の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供を行う	引き続き、避難計画作成等の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供を行う	
			境港市	境港市	△	・避難計画作成に係る情報提供を実施(現在の対象施設1施設)	・引き続き、避難計画作成に係る支援を行う ・イエローゾーンの設定に基づく見直しを実施する。	
			松江市	松江市	○	計画未策定施設への引続きの支援を実施 定住外国人を対象とした防災研修会を実施(東出雲地区) 外国人に対応した避難情報の発令を検討	計画未策定施設への引続きの支援を実施する 定住外国人を対象とした防災研修会を実施する 外国人に対応した避難情報を発信する。	
			安来市	安来市	○	島根県・しまね国際センターと共催で外国人住民のための防災訓練と災害時外国人サポーター要請研修を開催	要望により避難計画作成の支援を行う	

○「斐伊川水系中海沿岸の減災に係る取組方針」に基づく取組の進捗状況(斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会)

具体的な取組の柱		目標時期	取組機関	主務	令和元年度末の達成状況 前倒して実施 : ◎ 予定どおり実施 : ○ 作業中 : △ 未着手 : × R1(H31)対象外 : -	令和元年度に実施した内容	令和2年度に実施する内容 (予定)	備考	
事項	具体的取組								取組内容の詳細
・夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討		夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討	米子市 境港市 松江市 安来市	米子市	△	引き続き、検討する	引き続き、検討する		
				境港市	△	・県地域防災計画の修正に合わせて見直す	引き続き、検討する		
				松江市	△	避難勧告等の判断・伝達マニュアルの修正する 防災情報システムの活用を検討する	引き続き避難勧告等の判断・伝達マニュアルを修正する 防災情報システムの活用を検討する		
				安来市	△	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル修正時に検討する (夜間時について一部記載済み)	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル修正時に検討する		
・中海沿岸の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模洪水を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施		上流と合同で、中海沿岸の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模洪水を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	H29年度から実施	協議会全体	米子市	○	引き続き、企業への働きかけを行う。	引き続き、企業への働きかけを行う。	
					境港市	△	・協議会での開催に協力した	協議会での開催に協力する	
					松江市	○	企業への出前講座を実施。	引き続き企業への出前講座を実施する。	
					安来市	○	商工会議所や商工会を通して企業への啓発を行った	商工会議所や商工会を通して企業への啓発を行う	
					鳥取県	—	沿川自治体と協力し、商工会議所を通じて企業への働きかけを行った	引き続き、沿川自治体と協力し、商工会議所を通じて企業への働きかけを行う	
					島根県	—	講習会及び訓練参加の依頼なし	他機関での開催に協力する	
					気象台	—	講習会及び訓練参加の依頼なし	他機関での開催に協力する	
					中国地整(出雲河川)	—	講習会及び訓練参加の依頼なし	引き続き、沿川自治体と協力し、商工会議所を通じて企業への働きかけを行う	
■多様な防災活動を含むタイムラインの作成									
・河川管理者、沿岸自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの策定	上流と同様に別途検討会を立ち上げ、河川管理者、沿岸自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインを策定する	H30年度	協議会全体	中国地整(出雲河川)	○	斐伊川でタイムラインの運用を実施	タイムライン勉強会の実施		
■防災教育や防災知識の普及									
・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知		市のウェブサイト、出前講座、水防連絡会等を通じ、「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知を図る	市:H28年度から順次実施 県、国:H28年度から定期的に実施	協議会全体	米子市	○	引き続き、HP等を利用して活用促進のための周知を図る	引き続き、HP等を利用して活用促進のための周知を図る	
					境港市	○	・引き続き、市HPや出前講座等で活用促進のための周知を図った	引き続き、市HPや出前講座等で活用促進のための周知を図る	
					松江市	○	出前講座等にて情報提供を行った	引き続き出前講座等にて情報提供を行う	
					安来市	○	出前講座等にて情報提供を行った	出前講座等にて情報提供を行う	
					鳥取県	○	引き続き、水防連絡会、要配慮者利用施設管理者および市町村担当者への説明会等で周知する	引き続き、水防連絡会、要配慮者利用施設管理者および市町村担当者への説明会等で周知する	
					島根県	○	出前講座、防災イベント、水防研修等により周知を図った	引き続き、出前講座、水防研修等により周知する	
					気象台	○	出前講座等の機会に防災気象情報等の入手先のひとつとして「川の防災情報」も紹介した	出前講座等の機会に防災気象情報等の入手先のひとつとして「川の防災情報」を紹介する	
					中国地整(出雲河川)	○	洪水予報連絡会で周知した	洪水予報連絡会、出前講座等で周知する	
・小中学校などと連携した中海沿岸の水害の特徴を踏まえた防災教育の拡充		出前講座等を活用した防災教育を実施するとともに、学校教育関係者向け研修や講座等学習の場へ参加 中海の特性に合わせた教材等の作成	H28年度から順次実施	協議会全体	米子市	○	引き続き出前講座を実施 防災キャンプの実施支援	引き続き出前講座を実施 防災キャンプの実施支援	
					境港市	○	・小学校教育研究会学校事務部会及び中学校教育振興会学校事務部会職員からの依頼を受けて防災教育を実施	教育委員会と連携手法等を検討し、実施する。	
					松江市	○	教育委員会と連携し、朝酌小学校で防災授業を実施 小学校社会科副読本の作成協力(現在作成中)	引き続き教育委員会と連携し、小中学校での防災授業を実施する	
					安来市	○	第二中学校・第三中学校において防災学習のサポートを行った	教育委員会と連携し、防災学習のサポートを行う	
					鳥取県	○	出前講座等を活用した防災教育を実施した。	引き続き、沿川自治体と協力し、学校教育関係者向け研修や講座等学習の場への参加を働きかけを行う。	
					島根県	○	各種出前講座等の実施	引き続き出前講座等を活用し防災教育の支援を行う	
					気象台	○	・[R1.9.27]松江市立雑賀小学校の気象台見学において気象に関する知識の普及を実施した。 ・[R1.10.16]安来市立伯太中学校において、地震に関する知識の普及を実施した。 ・[R1.10.29]出雲北陵中学校・高等学校において、地震に関する知識の普及を実施した。 ・[R2.1.21]松江工業高校において、気象に関する知識の普及を実施した。 ・米子市立車尾小学校において、気象に関する知識の普及を実施した。 ・境港市立外江小学校において、気象に関する知識の普及を実施した。 ・米子市の理科教諭を対象とした出前講座において、気象に関する知識の普及を実施した。	小中学校向け出前講座等を実施した際に防災知識の普及啓発を図る	
中国地整(出雲河川)	○	斐伊川で防災教育教材を活用した試行授業を実施	中海を題材とした防災教育教材の作成を検討						

○「斐伊川水系中海沿岸の減災に係る取組方針」に基づく取組の進捗状況(斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会)

具体的な取組の柱		目標時期	取組機関	主務	令和元年度末の達成状況 前倒し実施：◎ 予定どおり実施：○ 作業中：△ 未着手：× R1(H31)対象外：-	令和元年度に実施した内容	令和2年度に実施する内容 (予定)	備考
事項	取組内容の詳細							
・住民の水防災意識の向上に資する出前講座等を活用した防災知識の普及	地域住民等を対象とした出前講座等を活用し防災知識の普及を図る	H28年度から定期的に実施	協議会全体	米子市	○	引き続き出前講座を実施	引き続き出前講座を実施	
				境港市	○	引き続き出前講座で普及を図った	引き続き出前講座で普及を図る	
				松江市	○	防災出前講座を実施(76回)	引き続き出前講座を実施する 市民ひとりひとりのマイタイムラインの作成に向けた講習会等を実施する	
				安来市	○	引き続き出前講座を実施した(24回)	引き続き出前講座を実施する	
				鳥取県	○	地域住民等を対象とした出前講座や工事説明会等を活用して防災知識の普及を図った。	引き続き、地域住民等を対象とした出前講座や工事説明会等を活用して防災知識の普及を図る。	
				島根県	○	各種出前講座の実施	引き続き出前講座等により防災知識の普及を図る	
				気象台	-	・【R1.9.8】安来市環境フェスティバルにおいて、気候変動に関する知識の普及を実施した。 ・【R1.9.25】松江市城西地区防災・町自連に関する合同研修会において、気象に関する知識の普及を実施した。 ・【R1.11.4】松江市環境フェスティバルにおいて、気候変動に関する知識の普及を実施した。	地域住民向け出前講座等を実施した際に防災知識の普及啓発を図る	
				中国地整(出雲河川)	-	・出前講座等の依頼なし。	・地域住民等を対象とした出前講座等を活用し防災知識の普及を図る。	
・地域防災リーダーの育成	市：講習会等を開催し、地域防災リーダーを育成 県、国：研修への参加及び必要に応じて研修講師の派遣	H28年度から定期的に実施	協議会全体	米子市	○	防災リーダーの育成も兼ねた研修会を開催及び防災士の取得支援	防災リーダーの育成も兼ねた研修会を開催及び防災士の取得支援	
				境港市	○	引き続き、防災士の資格取得を支援することで、地域防災リーダーの育成を図った	引き続き、防災士の資格取得を支援することで、地域防災リーダーの育成を図る	
				松江市	○	県が実施する研修会(大田市で開催)に参加(地区防災隊関係者) 市主催の地域防災リーダー研修を開催(11月4日) 防災士取得の促進(補助制度の拡充)を行った	引き続き国・県が実施する研修に参加を呼び掛ける 引き続き市主催の地域防災リーダー研修を開催する 引き続き防災士取得の促進をする	
				安来市	○	防災士の資格取得を支援することで、地域防災リーダーの育成を図る	・防災士の資格取得を支援することで、地域防災リーダーの育成を図る ・リーダー研修会など県が実施する研修への参加を呼びかけを行う	
				鳥取県	○	避難所運営リーダー養成研修及び、防災士養成研修、地域防災リーダーのスキルアップ研修を実施する 鳥取県防災・危機管理対策交付金で市町村を支援する	引き続き、避難所運営リーダー養成研修及び、防災士養成研修、地域防災リーダーのスキルアップ研修を実施する 引き続き、鳥取県防災・危機管理対策交付金で市町村を支援する。	
				島根県	○	避難所運営リーダー養成研修及び、防災士養成研修、自主防災組織リーダー研修を実施した	引き続き、避難所運営リーダー養成研修及び、防災士養成研修、自主防災組織リーダー研修を実施する	
				気象台	-	・【R1.6.11】松江地区防災関係機関連絡会議において、気象に関する知識の普及を実施した ・【R2.3.3】広瀬土木事業所技術会において、気候変動に関する知識の普及を実施した。 ・米子市防災士養成講座において、気象に関する知識の普及を実施した。	関係機関が実施する自主防災組織向けの研修会に講師を派遣する	
				中国地整(出雲河川)	-	・研修への参加及び必要に応じて研修講師を派遣する	・研修への参加及び必要に応じて研修講師を派遣する	
・河川管理に従事している職員の説明能力向上のための研修の実施	県、国：河川管理に従事している職員の説明能力向上のための研修を行い、専門知識の向上を図る 気象台：中国地整や県と連携して、研修等に講師を派遣し、気象に関する知識の向上を図る 市：県や国の主催する研修等に参加し、説明能力の向上を図る	H28年度から定期的に実施	協議会全体	米子市	○	国や県の主催する研修等に積極的に参加する	国や県の主催する研修等に積極的に参加する	
				境港市	○	国や県の主催する研修等に積極的に参加した	国や県の主催する研修等に積極的に参加する	
				松江市	○	国や県の主催する研修等に参加(島根県主催研修会、岡山県主催被災地視察等)	引き続き国や県の主催する研修等に積極的に参加する	
				安来市	○	国や県の主催する研修等に積極的に参加した	国や県の主催する研修等に積極的に参加する	
				鳥取県	○	災害対策基本法に係る助言に関する説明会を実施する	災害対策基本法に係る助言に関する説明会を実施する	
				島根県	○	河川実務研修の実施	引き続き河川実務研修等を実施し専門知識の向上を図る	
				気象台	○	・【R1.6.7】島根県主催の水防研修会に講師を派遣した	関係機関が実施する自主防災組織向けの研修会に講師を派遣する	
				中国地整(出雲河川)	○	・研修への参加及び必要に応じて研修講師を派遣する	・研修への参加及び必要に応じて研修講師を派遣する	
・市長に対し助言を行う者の育成・派遣	県、国：防災に精通した市職員の育成や、洪水時・平常時に助言を行うアドバイザーの育成・派遣について研修等を行う 気象台：中国地整や県と連携して、研修等に講師を派遣し、気象に関する知識の向上を図る 市：県や国の主催する研修等に参加し、防災に精通した市職員の育成を図る	H28年度から定期的に実施	協議会全体	米子市	○	引き続き、研修会等に積極的に参加する	引き続き、研修会等に積極的に参加する	
				境港市	○	引き続き、研修会等に積極的に参加した	引き続き、研修会等に積極的に参加する	
				松江市	○	防災専門研修に参加(神戸、東京等)	引き続き、研修会等に積極的に参加する	
				安来市	○	各種研修会へ参加した	引き続き、研修会等へ積極的に参加する	
				鳥取県	○	水防連絡会を開催する	引き続き、水防連絡会を開催する	
				島根県	○	水防計画説明会、水防研修会の開催	引き続き水防研修会等を開催する	
				気象台	○	・【R1.6.7】島根県主催の水防研修会に講師を派遣した	関係機関が実施する自主防災組織向けの研修会に講師を派遣する	
				中国地整(出雲河川)	○	・研修への参加及び必要に応じて研修講師を派遣する	・研修への参加及び必要に応じて研修講師を派遣する	

2. 中海の浸水特性に応じた効果的な水防活動及び施設運用の取組

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

・水害に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備(再掲)	CCTVの増設検討(大海崎ほか)、 水位情報の公表検討(本庄ほか)	H30年度	中国地整	中国地整(出雲河川)				
・河川のリアルタイム映像の提供環境の整備及び避難行動等に資する水位予測等の精度向上(再掲)	河川のリアルタイム映像の提供環境の整備(日野川とも連携) 避難行動等に資する水位予測等の精度向上(想定最大規模高潮の浸水シミュレーションの活用や気象台とも連携)	H28年度から検討実施	中国地整	中国地整(出雲河川)				

○「斐伊川水系中海沿岸の減災に係る取組方針」に基づく取組の進捗状況(斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会)

具体的な取組の柱		目標時期	取組機関	主務	令和元年度末の達成状況 前倒しで実施：◎ 予定どおり実施：○ 作業中：△ 未着手：× R1(H31)対象外：-	令和元年度に実施した内容	令和2年度に実施する内容 (予定)	備考
事項	取組内容の詳細							
・防災情報の周知徹底(再掲)	米子市:防災行政無線のデジタル化 境港市、松江市、安来市、鳥取県、島根県:防災メール等 国:プッシュ型の洪水予報	H28年度から検討実施	協議会全体	米子市 境港市 松江市 安来市 鳥取県 島根県 気象台 中国地整(出雲河川)				
■効果的な水防活動及び水防体制の強化								
・中海沿岸の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼任する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施	鳥取県、出雲河川:中海沿岸の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼任する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施 市:合同点検に参加	H28年度から定期的に実施	米子市 境港市 松江市 安来市 鳥取県 島根県 中国地整	中国地整(出雲河川)	○	出水期までに、県、市の担当者や災害応急対策活動等に関する基本協定締結業者等が参加する重要水防箇所の合同点検を実施した	出水期までに、県、市の担当者や災害応急対策活動等に関する基本協定締結業者等が参加する重要水防箇所の合同点検を実施する	
・備蓄水防資機材情報の共有、非常時の相互支援方法の確認	水防連絡会等を活用し、備蓄水防資機材情報の共有、非常時の相互支援方法の確認を出水期前に実施	H29年度から定期的に実施	米子市 境港市 松江市 安来市 鳥取県 島根県 中国地整	中国地整(出雲河川)	○	・支援物資情報を共有する 保有資材の種類、数量、保管場所について、水防連絡会を利用し関係者に周知した	・支援物資情報を共有する 保有資材の種類、数量、保管場所について、水防連絡会を利用し関係者に周知(保管場所への大型車両の進入可否等の情報も整理)	
■施設運用の確実な実施								
・排水施設の操作説明会の実施	出雲河川:排水門操作員へ排水施設の操作説明会を実施 鳥取県:排水門操作員からの求めがあれば、排水施設の操作説明会を実施 市:排水門操作員からの求めがあれば、国又は県へ操作説明会を依頼	順次実施	米子市 境港市 松江市 安来市 鳥取県 島根県 中国地整	米子市 境港市 松江市 安来市 鳥取県 島根県 中国地整(出雲河川)	— — ○ ○ ○ — ○	操作員からの要望に応じて実施する ・操作員からの要望に応じて実施する 国交省種門操作講習会を実施(6月) ・操作員からの要望に応じて実施した 操作員からの要望に応じて実施した 職員による排水ポンプ車の操作訓練等実施した 操作員等からの要請に応じて説明会を実施する 出水期前に委託先である市と操作員合同で現地操作説明会を実施した	操作員からの要望に応じて実施する 操作員からの要望に応じて実施する 引き続き操作員からの要望に応じて実施する 操作員からの要望に応じて実施する 引き続き、操作員からの要望に応じて実施する 職員による排水ポンプ車の操作訓練等実施する 操作員等からの要請に応じて説明会を実施する 出水期前に委託先である市と操作員合同で現地操作説明会を実施する	
3. 予測しづらい高潮への対応能力を高める取組								
■高潮に対するハード対策の促進								
・中海湖岸堤整備(再掲)	今後概ね5年間で整備する箇所 短期:西工業団地、葦津、江島、長海 短中期:米子港、安来 中期:大海崎	順次実施	中国地整	中国地整(出雲河川)	○	・整備計画に基づき順次実施	・整備計画に基づき順次実施する	
■想定最大規模高潮における浸水シミュレーションの実施・公表等								
・高潮の予測・予報手法の検討	シミュレーションモデルを活用した高潮の予測・予報手法を検討	H28年度から検討実施	国交省	中国地整(出雲河川)	○	公表する浸水予想図(仮称)を作成する。	公表に向けて関係市町と調整を実施する。	
・想定最大規模高潮における浸水シミュレーションの実施・公表	想定最大規模高潮における浸水シミュレーションの実施・公表	H29年度	国交省	中国地整(出雲河川)	○	引き続き公表資料及び方法を検討する。	公表に向けて関係市町と調整を実施する。	